



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～環を尊び 人と自然が未来をつくる 茶ごろのまら～

発行日：2024年10月1日（第102号） 編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会
事務局 TEL (88) 6639 FAX (88) 3231

「うじたわら生物調査隊」始動！！ ～活動報告～

本年4月より、うじたわら生物調査隊が活動を始めました。宇治田原町内の生物相を調べることで生物多様性の保全に資することを目的としています。原則として毎月第4土曜日の午前中に調査を行っています。一年間、同じ場所で調査を行うことで、季節変化や生物相全体の把握が可能となります。また、毎年場所を変えて調査を行うことにしていますが、令和6年度は御林山町有林を対象にしています。

4月～8月まで、すでに5回の調査を終えましたので、その中で見られた生物をいくつか紹介いたします。



ヒメハギ (4/27)

ヒメハギは小さな植物で、地を這うようにして生育しており、花の大きさは1 cm程度です。



オオセンチコガネ (5/25)

オオセンチコガネはいわゆるフンコロガシの仲間で、シカなどの草食動物の糞に卵を産み付けます。



エビイロカメムシ (6/25)

エビイロカメムシはイネ科を食草としますが、イネやサトウキビの食害例はほとんどないようです。



オオシラガゴケ (7/27)

オオシラガゴケは山地に生えるコケで房状にかたまっていることが多いコケです。



キンモンガ (8/24)

キンモンガはアゲハモドキガ科に属するガで名前の通りチョウ類のアゲハに似た模様をしています。

【まとめ】

今のところ、希少な生物は見つかっていませんが、野生動物の存在を示したり、山地を特徴づける生物種が見つかるなど、街中とは異なる生物相が認められています。これから秋のきのこの季節を迎えますので、いろいろなきのこが見られるのではないかと今からワクワクしているところです。皆さんもぜひ、私たちと一緒に宇治田原町の自然を満喫しつつ、生物相の解明に寄与してみませんか。誰でも、また1回だけの参加も可能です。

お問い合わせは、役場建設環境課内エコパートナーシップうじたわら事務局まで。

SDGsの基礎知識②

エコパートナーシップうじたわら会長 芦原 昇

いろんなところで見かけたり、聞いたりしたことがある右のようなマークや「SDGs」という言葉。意外と知っているようで知らない「SDGs」について、前号から引き続き、簡単に皆さんにご紹介したいと思います。



●目標（ゴール）とターゲットの違いってなに？

SDGsは、17の目標（ゴール）、169のターゲットを基本とする仕組みと前回お伝えしましたが、目標とターゲットの違いを説明します。17の目標には、それぞれ具体的なターゲットが全部で169個定められています。目標はどちらかというと、「2030年にあるべき姿」を示す抽象的な表現であるのに対し、ターゲットは、具体的かつ現実的に示された2030年までに「達成すべき目標」を指します。

●どんな目標（ゴール）があるの？①

では、17の目標（ゴール）について、まずは1～3について、簡単にご紹介します。



目標1『貧困をなくそう』（ターゲット 7個）

1日200円未満で暮らす人を極度の貧困とし、2030年までにどのような場所にもいなくなるようにするとされています。



目標2『飢餓をゼロに』（ターゲット 8個）

2030年までに世界中からあらゆる飢餓をなくすことが目標です。



目標3『すべての人に健康と福祉を』（ターゲット 13個）

2030年までに福祉をあらゆる場所に行き届かせることが目標です。

★次号では、引き続き、目標（ゴール）について、ご紹介させていただきます！

コラム 『^{のちのち}後々の名月と秋の七草・自然食をいただく』

自然・生活環境部会 阪本 伊三雄

今夏の酷暑、猛暑の熱帯夜では、ゆったりと名月を仰ぐもままならず、10月17日の満月を観賞してみましよう。そこでお供え物には、栗のおこわ飯と里芋（子芋）のきぬかつぎ。生け花は、万葉時代の歌人、山上憶良（やまのうえのおくら）が詠んだ『山萩(ハギ)[マメ科]・尾花(ススキ)[イネ科]・葛(クズ)[マメ科]・撫子(ナデシコ)[ナデシコ科]・女郎花(オミナエシ)[オミナエシ科]・藤袴(フジバカマ)[キク科]・桔梗(キキョウ)[キキョウ科]〈憶良は桔梗をアサガオと詠んでいた〉』を1輪ずつ飾りお供えしよう。全部揃わなくても良いのです。春の七草は、全部お粥にして食しましたが、秋の七草は愛でるだけで食べません。

さて、観月する私は毎年、里芋のずいきを茹で、赤白の合せ味噌と一味トウガラシの粉に、味噌を混ぜて、よく和えたものと、ヤマノイモのつるにできたムカゴを塩味で炒ったものを。枝豆に焼き栗で、人肌の爛酒を、ゆったりと味わうのであります。これが名月の宴（うたげ）なんですね。すだく虫の音に、涼みいるのは優雅なものです。みなさんもぜひお試しください。BGMにショパンやドビュッシーのピアノ曲を静かに添えてみてはいかがでしょうか。



エコパートナーシップうじたわら賛助会員

濱田プレス工藝株式会社

宇治田原町 宇治田原工業団地管理組合 須河車体株式会社
宇治田原町区長会 宇治田原町森林組合 宇治田原町商工会

エコパートナーシップうじたわら事務局（宇治田原町建設環境課内）

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字立川小字坂口 18-1

TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール: junkan@town.ujitawara.lg.jp

会報のバックナンバーをご覧ください

宇治田原町役場HP「MENU（暮らし・手続き）」⇒「生活・環境」⇒「エコパートナーシップうじたわら」

環境を尊び 人と自然が未来をつくる 茶ごころのまち 宇治田原

